

『事例研究 ～ 実践を理論的に見る～』

- ・実践を事例検討から一歩進んで、事例研究として広い視野で専門的に捉えてみませんか？
- ・皆さんと事例研究を一緒に行う有意義な時間にしたいと思います。
- ・新人からベテランまで経験年数を問わず、真のソーシャルワークを身に付けたい方、どなたでも歓迎です！

日時・場所：2022年12月15日（木）19:00～20:30

オンライン開催：ZOOM（申込後、招待アドレスを送付します）

参加費：無料

対象者：会員のみ

事前申込制：グーグルフォーム <https://forms.gle/FciH64vTcUwoer2eA> ← クリック

申込み〆切：12月12日（月）

プログラム

会期日時	内容	事例提供者
12月15日（木）19時～	当日、共有します	崎原 盛司（北中城若松病院）
2月〇日（木）19時～	同上	検討中

担当・お問い合わせ

樋口美智子（沖縄国際大学）

嘉手納泉也（大浜第一病院）

TEL：098-866-5171

Google form で以下の入力をお願いします。

1. 病院名（施設名） 2. メールアドレス 3. 氏名（ふりがな）

* 参加証はございません

◎ 申し込みをされた方へ ◎

- ・ZOOM アカウントは開催前日までに皆様へ送信いたします。
- ・事前の配布資料はございません。会の最中においても倫理的配慮を必ず行います。
- ・メールアドレスは正確に記載をお願いいたします。*勉強会目的以外には使用しません。
- ・「一緒に行く」をコンセプトにしているため、音声は適宜使用します。可能でしたらビデオはONでお願いします。また、指名してコメントをお願いする場合があります（パスも可能です）。

◎ 事例研究とは ◎

- ・実践活動を通して現実を構成している本質構造の解明および研究であり、仮説がある。「●●のような支援をすれば、△△のようなメカニズムによって、■●のような結果になる」。

◎ 前回、事例提供を行ってみたいの考察 ◎

- ・独居高齢者の療養先選定支援というタイトルで、ミクロ・ソーシャルワーク実践を報告した。ソーシャルワーカーは「市福祉サービス」や「福祉用具の自費レンタル」、「総合事業」や「介護保険」の活用支援、サービス利用に対する「認知の変容」を試みた。1人で生きている（きた）ストレングス・モデル、エコロジカル理論およびネットワークの活用にて社会生活機能の維持に向けて課題中心アプローチを試みた。ご本人の自己選択により「自宅」から「地域包括ケア病院へ転院」となる。ノン・ボランティアの方であったが生活課題が明確となり、対処能力の向上と社会資源の活用（ご家族および関係機関）により環境と応答性が高まった。参加者のご質問として、ご家族の年齢、身体障害者手帳や年金の活用、食事や調理等の生活の様子、市福祉サービスの概要、ご本人の「生きる強さ」についてなどがあった。支援過程がソーシャルワーク理論に基づいたものであり、専門用語や支援効果を参加者と共通認識できたこと、専門職集団のなかで共有されたコトバや知識・技術を使用することができた。

（大浜第一病院：嘉手納泉也）